

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名 武蔵野大学

1 事業の趣旨・目的

「生活者としての外国人」は「仕事をする外国人」であることも多い。そこで、「仕事をする外国人」の仕事の現場で使用する日本語のサポート、ならびに、日本の職場事情の紹介相手として、「仕事をする外国人」の仕事上の悩みも聞きながらサポートするボランティア人材の養成を目的とする。

武蔵野大学のビジネス日本語教育の知識と経験を生かした「仕事の日本語」の指導ができるボランティア育成を図る研修講座としていく。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
10月5日	武蔵野大学三鷹サテライト教室	堀井恵子 種村政男 稲谷いく子	・今後の予定について ・教材等について ・補助者について ・その他	開講にあたり、今後の講義内容を確認した。
12月21日	〃	堀井恵子 種村政男 稲谷いく子	・今後の予定について ・教材等について ・補助者について ・その他	今年度の講座の進捗状況について確認し、講師態勢について確認した。等
1月25日	〃	種村政男 稲谷いく子	・今後の予定について ・教材等について	今年度の講座の進捗状況について確認し、集中講座、演習について確認した。等
3月15日	〃	堀井恵子 種村政男 稲谷いく子	・今期の振返りにについて	今期の実施内容について、振返りを行った。

【写真】(会議風景)



3 研修講座の内容について

- (1) 研修講座名 「仕事をする外国人をサポートするためのボランティア講座」
- (2) 研修の目標 地域における「仕事の日本語」を指導するボランティアを養成し、生活者としての外国人の自立を支える
- (3) 受講者の総数 13人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
(出身・国籍別内訳 日本人 13人)
- (4) 開催時間数(回数) 45時間 (21回)
- (5) 参加対象者の要件 原則としてボランティアとしての日本語指導経験2年以上
仕事の経験のある者
- (6) 受講者の募集方法 大学ホームページに募集内容掲載
区・市の役所、教育委員会、図書館、文化センター等に募集
チラシを郵送し広報依頼(8月)
朝日新聞折込チラシ(5月)
朝日新聞・読売新聞折込チラシ(8月)

(募集のチラシ等)

平成22年度 文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

仕事をする外国人を サポートするためのボランティア講座

ボランティアを対象とした実践的研修

あなたの仕事経験を生かしませんか？

生活者としての外国人の自立を支えるための、
地域における「仕事の日本語」を指導するボランティアを養成します。

■募集要項

- 期 間 ▶ 平成22年10月5日(火)～平成23年3月15日(火)
場 所 ▶ 武蔵野大学三鷹サテライト教室
受 講 料 ▶ 無料
応募資格 ▶ ボランティアとしての日本語指導経験 2年以上の方
仕事の経験のあるシニア
募集定員 ▶ 20名

申込期間 ▶ 平成22年 8月17日(火)～9月14日(火)

申込方法 ▶ 下記問い合わせ先までお電話、FAXまたは
Eメールにてご連絡ください。

※ ご不明な点やお申し込みにあたっての相談等も、お気軽にお問い合わせください。

詳しくは武蔵野大学ホームページをご覧ください。 裏面もご覧ください。▶



— Linking Thinking —

お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211
開室日：月～金曜日 9:30～18:00
土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)
e-mail nihongo@musa.shino-u.ac.jp

武蔵野大学 社会連携センター
〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

平成22年10月開講 「仕事をする外国人をサポートするためのボランティア講座」 概要

Curriculum カリキュラム

講義 ワークショップ	週1回 火曜日	10:00～11:30	(平成22年10月5日～平成23年2月8日)
実習 (集中講義) 意見交換会	○集中講義 5回	10:00～15:30 (途中休憩時間あり)	(平成23年2月15日～3月15日)

Program プログラム

	日程	概要
講義 (90分×4コマ)	平成22年10月5日	オリエンテーション (90分×1コマ)
	平成22年10月12日、19日	仕事をする外国人の現状、ケーススタディ
	平成23年2月8日	サポート実習の事前学習 (90分×1コマ)
ワークショップ (90分×12コマ)	平成22年10月26日 ↓ 平成23年1月18日	仕事をする外国人の現状 仕事をする外国人のための日本語教育 (90分×10コマ) 仕事をする外国人のための日本語教材 ビジネス日本語教育の基礎 ビジネス日本語の基礎知識、ビジネス日本語教育の基礎知識、 ビジネス日本語のサポート方法など
	平成23年1月25日 2月1日	仕事をする外国人をサポートするための 異文化コミュニケーション (90分×2コマ)
	平成23年2月15日 ↓ 3月8日	サポート実習とその振り返り 実際の外国人にサポート実習をし、改善のための振り返りの仕方を考える
意見交換会	平成23年3月15日	講座のまとめと意見交換



— Linking Thinking —

お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211
開室日：月～金曜日 9:30～18:00
土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 社会連携センター
〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

(7) 研修会場

ア 講義 武蔵野大学三鷹サテライト教室

イ 実習 武蔵野大学三鷹サテライト教室

(8) 使用した教材・リソース

○オリジナルプリント

○凡人社『日本語教育への扉』堀井恵子著

(9) 講座内容

開催日	講座名／学習内容	講師	受講人数
10月5日 10:00～11:30	オリエンテーション	武蔵野大学大学院教授 堀井 恵子	12人
10月12日 10:00～11:30	仕事をする外国人の現状、ケーススタディ	西東京市多文化共生センター理事 種村 政男	11人
10月19日 10:00～11:30	仕事をする外国人の現状、ケーススタディ	西東京市多文化共生センター副代表理事 山辺真理子(堀井 恵子)	12人
10月26日 10:00～11:30	仕事をする外国人の現状・日本語教育・日本語教材	山梨英和大学非常勤講師 稲谷 いく子	12人
11月2日 10:00～11:30	仕事をする外国人の現状・日本語教育・日本語教材	武蔵野大学大学院教授 堀井 恵子	12人
11月9日 10:00～11:30	仕事をする外国人の現状・日本語教育・日本語教材	西東京市多文化共生センター理事 種村 政男	13人
11月16日 10:00～11:30	仕事をする外国人の現状・日本語教育・日本語教材	山梨英和大学非常勤講師 稲谷 いく子	13人
11月30日 10:00～11:30	仕事をする外国人の現状・日本語教育・日本語教材	武蔵野大学大学院教授 堀井 恵子	11人
12月7日 10:00～11:30	仕事をする外国人の現状・日本語教育・日本語教材	西東京市多文化共生センター理事 種村 政男	13人
12月14日 10:00～11:30	ビジネス日本語教育の基礎	山梨英和大学非常勤講師 稲谷 いく子	13人

12月21日 10:00~11:30	ビジネス日本語教育の基礎	武蔵野大学大学院教授 堀井 恵子	11人
1月11日 10:00~11:30	ビジネス日本語教育の基礎	西東京市多文化共生センター理事 種村 政男	12人
1月18日 10:00~11:30	ビジネス日本語教育の基礎	山梨英和大学非常勤講師 稲谷 いく子	11人
1月25日 10:00~11:30	仕事をする外国人をサポートするための異文化コミュニケーション・プレゼン準備	西東京市多文化共生センター理事 種村 政男	13人
2月1日 10:00~11:30	仕事をする外国人をサポートするための異文化コミュニケーション・プレゼン準備	山梨英和大学非常勤講師 稲谷 いく子	13人
2月8日 10:00~11:30	プレゼン発表 サポート実習の事前学習	武蔵野大学大学院教授 堀井 恵子	11人
2月15日 10:00~12:00 13:00~15:30	サポート実習とその振りかえり	西東京市多文化共生センター理事 種村 政男	11人
2月22日 10:00~12:00 13:00~15:30	サポート実習とその振りかえり	武蔵野大学大学院准教授 村澤 慶昭	13人
3月1日 10:00~12:00 13:00~15:30	サポート実習とその振りかえり	武蔵野大学大学院准教授 村澤 慶昭	13人
3月8日 10:00~12:00 13:00~15:30	サポート実習とその振りかえり	武蔵野大学大学院准教授 村澤 慶昭	13人
3月15日 10:00~12:00 13:00~14:00	講座のまとめと意見交換	武蔵野大学大学院教授 堀井 恵子	13人

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

参加者アンケートを実施したところ 13 名から回答が寄せられた。

講座の目的としてあげた①仕事をする外国人の現状、②仕事をする外国人と接す

るための能力、③ビジネス日本語教育の基礎知識について、おおむね理解が深まったと回答している。特に④ワークショップ形式で教材を作ったことについて、⑤サポート実習について、大変良かったとの回答がほとんどであった。

② 実施主体からの研修内容結果評価

一般的な講義を聴くだけの講座と違い、毎回グループワークや課題があり、そのような講座にあまりなれていない受講生には大変だったと思うが、全員最後まで積極的に参加し、「新たな気づきがあった」という振り返りが多かった。実際に応用できる教材も作成できた。今回は実際に地域で活躍している受講生が多かったので、多摩地域のネットワークづくりにも役立ちそうである。

また、受講者の振り返りにもあるとおり、何をしたらよいか、何が足りないかが見えてきたことがそれぞれの大きな収穫であったと思われる。受講者それぞれの今後のご活躍が期待される。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

受講者からの希望でもある ML のネットワークを作り、受講者が個々ではなく、つながりを持って歩んでいけるよう支援する。また、ネットワークを作ることにより、外国人支援情報を共有し、希望者がボランティアの現場で活動できるような体制を構築する。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

武蔵野市国際交流協会、西東京市多文化共生・国際交流センターを中心に、地域のボランティア協会等と連携し、相互の情報交換により、今回の受講者がよりレベルアップができ、外国人をサポートできる機会が得られるような環境を作っていきたい。

② 研修後の人材活用

武蔵野市国際交流協会、西東京市多文化共生・国際交流センターを中心に、地域のボランティア協会等と連携することにより、今回の受講者が外国人をサポートするボランティアとして活動できるよう支援していきたい。

仕事予備軍である本学大学院ビジネス日本語コースの留学生に対するサポーターとして、今回の修了生を活用することを検討したい。

(12) 今後の課題

講義・教材作成・作成教材のプレゼンテーション・サポート実習という講座構成は自律的サポーターへの気づきを促すことにつながったと思われる。しかし、高いレベルのサポーターに求められているのは、外国人に対し「教え込むではなく、支える“サポートのあり方を理解し少しでも身につけた人が多くなるには、さらに経験と時間が必要と感ぜられる。